

大宮中学校国語科 《第3学年》年間指導計画

国語科 教科目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

第3学年年間指導計画（評価規準）

国語科 第3学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

★ 知は、知識・技能 思は、思考力、判断力、表現力 態は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名と配当時間	単元目標	指導内容	評価規準
4	ガイダンス (2時間)	国語の授業に向けて心構えを作る。	国語科ガイダンス	知 国語科学習に対して関心をもち、意欲を高めようとしている。
			世界はうつくしいと	知 詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。
				態 進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
5	深まる学びへ (10～12時間)	・描写に注目して小説を読み深めることができる。	握手	知 時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。
				思 ・「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。
				態 ・文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。
		・効果的な聞き方を身に付けることができる。	(聞く) 評価しながら聞く	知 根拠としている情報について、事実関係や裏付けなどに注意して聞いている。
				思 ・自分の意見と根拠を明確にし、相手の立場から予想される反論についても考えている。
				態 ・立場ごとの主張と根拠、共通点と相違点を整理してメモを取っている。
		・古典への理解を深めることができる。	学んで時にこれを習うー「論語」から	知 教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。
				思 孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。
				態 人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。

		・情報の活用について理解を深めることができる。	情報整理のレッスン 情報の信頼性	知	情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。
				態	学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。
		・漢字への理解を深めることができる	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう 1	知	漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。
				態	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	視野をひろげて (9~11時間)	・説明的文章への理解を深めることができる。	作られた「物語」を超えて	知	ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。
				思	論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。
				態	進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。
6		・論理展開について理解を深めることができる。	思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう	知	具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。
				態	具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組みようとしている。
				知	情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。
		・効果的なスピーチについて理解を深めることができる。	説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす	思	・話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。 ・興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。
				態	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。
		・漢字について理解を深めることができる。	漢字に親しもう 2	知	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。
態	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。				
・文法について理解を深めることができる。	文法への扉1 すいかは幾つ必要？	知	既習の文法事項が、日常の会話や文章、文の表現効果を考える際のポイントになることを理解している		
		態	助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組みようとしている。		
	情報社会に生きる (3時間)	・実用的な文章や報道文について理解を深めることができる。	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	知	実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。
				思	事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。
				態	積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。
7	言葉とともに (5時間)	・俳句について理解を深めることができる。	俳句の可能性 俳句を味わう 【書く】俳句を	知	・俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。 ・俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。

			作って楽しもう	思	・伝えたいことが効果的に伝わる構成を考えて、俳句を創作している。 ・自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。
			思	進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている	
			知	古典や近代文学、年配の人との会話の例の中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見つけている	
			態	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解し、相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。	
	・言葉の変遷について理解を深める。	語彙を豊かに時代や世代による言葉の変化	知	和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。	
			態	進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。	
	読書生活を豊かに(2時間)	・読書の楽しみ方について理解を深めることができる。	読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと?	思	進んで読書の意義と効用について理解し、見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。
				態	進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。
書写 目的に応じて効果的に書こう	・効果的な文字の使い方について理解を深めることができる。	文字を効果的に使うために	知	目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。	
			態	ゴシック体・明朝体・手書き文字の特徴と、それぞれの文字から受ける印象について、主体的に話し合おうとしている。	
		[コラム]デザインと文字	知	目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。	
			態	・本の装丁や広告など、身の回りの文字文化に興味をもち、その文字を使うことによる効果を考えている。	
9	状況の中で(11~13時間)	・詩の描写に注目して読み深めることができる。	挨拶 ——原爆の写真によせて	知	比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。
				思	現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。
		態	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。		
		・小説の描写に注目して読み深めることができる。	故郷	知	文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。
	思			・自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 ・「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。	
	態	粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。			
・効果的な質問について理解を深めることができる。	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	知	話し手や聞き手が、対談の中で、適切な言葉遣いをしている。		

				思	自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。
				態	粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている
		・既習事項を振り返りながら効果的な文章を構成することができる。	[推敲]論理の展開を整える	知	「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。
				思	課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。
				態	目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。
		・言葉について理解を深めることができる。	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	知	慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。
				態	積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。
		・漢字について理解を深めることができる。	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	知	漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。
				態	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10	自らの考えを (17~19時間)	・説明敵文章を比較して読むことで事象への認識を深めることができる。	複数の意見を読んで、考えよう 正解が一つに決まらない課題と向き合う	知	自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。
				思	・二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。 ・自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。
				態	積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
		・効果的な批評文を書くことができる。	考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く	知	具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。
				思	自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。
				態	粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
		・漢字について理解を深めることができる。	漢字に親しもう4	知	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。
				態	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		・話し合いを効果的に進めることができる。	[話し合い(進行)]話し合いを効果的に進めよう	知	全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。
				思	話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。
				態	積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。
11		・合意形成に向けての話し合いについて理解を深めることができる。	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のため	知	複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。

			に会議を開く	思	提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。	
				態	合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	
		・音読を通して詩を読み深めることができる。	音読を楽しもう 初恋	知	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。	
				思	文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。	
				態	進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。	
	いにしへの心を受け 継ぐ (6~8時間)	・音読を通して和歌の世界に親しむことができる。	和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集仮名序	知	「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。	
				態	進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	
		・古典に親しむことができる。	君待つと ——万葉・古今・新古今	知	・三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。 ・気に入った言葉や表現の効果などに気づき、引用している	
				思	心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。	
				態	進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。	
			夏草 ——「おくのほそ道」から 【書く】古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう	知	・作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。 ・古典の言葉を引用して鑑賞文やメッセージを書いている	
				思	・芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較している。 ・自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。	
				態	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。	
				つながる古典、古典名作選	知	・作者や作品の時代背景を知り、古典の名句・名言を朗読している。 ・気に入った名句や名言をノートに書いたり、それについて自分の考えを書いたりしている。
					態	長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。
12	価値を生み出す (7時間)	・説明的文章を読み深めることができる。	それでも、言葉を	知	抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。	
				思	文章を読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。	
				態	人間、社会、自然などについて自分の意見をもち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。	
		・効果的な小論文の書き方について理解を深めている。	【推敲】論理の展開を整える	知	具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。	
				思	資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。	
				態	論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもち小論文を書こうとしている。	

		・漢字について理解を深めることができる。	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5	知	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。
		態	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
		・文法について理解を深めることができる。	文法への扉2 「ない」の違いがわからない?	知	「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。
		態	単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。		
	学習したことを生かして書こう	・これまで学習したことを生かして効果的に作品を仕上げることができる。	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	知	・課題に取り組み、3年間で学習したことを確かめている。
				態	3年間で学習したことを振り返り、主体的に課題に取り組もうとしている。
			冊子にまとめて、発表会をする	知	これまでに学習したことを理解している。
				思	これまでに学習したことを生かし、卒業を記念する作品を作っている。
			書き初め	態	・これまでに学習したことを生かし、主体的に作品を作っている。
				知	これまでに学習した楷書と行書の特性や仮名との調和を理解している。
態	これまでに学習したことを主体的に生かして書き初め作品を書こうとしている。				
読書に親しむ (1時間)	・読書に親しむことができる。	本は世界への扉 天、共に在り 極夜行 読書案内 本の世界を広げよう	態	進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。	
1	未来へ向かって (11~13時間)	・随筆を読み深めることができる。	温かいスープ アラスカとの出会い 律儀な桜	知	文章に表現された人と人との関係を通して、自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。
				思	自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、自分の考えをまとめている。
				態	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
		・詩を読み深めることができる。	わたしを束ねないで 初日	知	言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。
				思	詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。
				態	詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
	・これまで学んだ事を改めて復習し身に付けることができる。	まとめの問題 総合練習問題	態	これまで学習した内容を振り返り、3年間の学習範囲に粘り強く取り組もうとしている。	
			2	・3年間で学んだ事を振り返ることができる。	三年間の歩みを振り返ろう
	態	粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。			

		・漢字への理解を深めることができる。	漢字に親しもう 6	知 態	音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3	振り返り	・これまでの学習を振り返ることができる。	学習を振り返ろう	知 態	・手や場を意識して敬語を使ってスピーチしたり、説明文を書いたりしている。 ・目的に応じて情報を収集・整理して相手にわかるように説明している。 粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。

評価基準・・・知：定期考査、漢字テスト、作品、ワークシート等

思：定期考査、発表、聞き取りテスト、作品、作文、小テスト等

意：授業中の取り組み、定期考査、プリント、ワーク、提出物等